

## 人事委員会議事録（第1707回）

### 1 開催日時

令和5年5月11日（木）10：00～11：05

### 2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

### 3 会議に出席した者

委員	田中基康	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	古川卓哉	事務局長
	西谷智子	任用課長
	井上博尊	給与課長
	中原恵子	任用課副課長兼給与課副課長

## 開 会

### 第1号議案

#### 議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1706回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

### 第2号議案

#### 技術系職種採用試験（春日程・大卒程度）筆記試験合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（5月12日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

職種によっては、最高得点が低い職種があるが、試験問題の難易度が高かったのかなど検証が必要ではないか。

（事務局）

今回の筆記試験は、記述式のみとして初めて実施した試験であり、解答方法の違いによる難易度の違いなど検証を行い、その結果を踏まえ、次回以降の筆記試験の問題作成を検討する。

### 第3号議案

#### 採用選考試験（第1回）実施要綱決定の件

任用課長が標記要綱（案）を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員)

採用予定人員が1名から変更することがあるのであれば、単に1名というよりは応募意欲が増す観点から、若干名という表記でいいのではないか。

(委員)

情報は明確に発信すべきという考え方から、人数を明記しているのではないか。

(事務局)

従前は若干名表記を行っていたこともある。改めた過去の経緯や考え方等を確認し、次回以降の対応を再検討する。

(委員)

採用選考試験で募集する心理判定員と、技術系職種採用試験（春日程）で募集した心理判定員は違いがあるのか。

(事務局)

受験資格が異なっている。採用選考試験で募集する心理判定員については、県立病院等で心理判定等を行うため、公認心理師の資格を有すること、医療施設において心理検査、心理療法等の業務経歴を有することを受験資格としている。

## 報告事項 1

### 県民の信頼確保と厳正な規律の保持

任用課長が、標記通知について報告した。

(委員)

今年度、知事の通知には、自転車を利用する際は乗車用ヘルメットの着用に努める旨

追記されているが、次回から、自転車損害賠償保険等への加入も併記すればよいのでは

ないか。

(委員)

本県では、条例により、自転車利用者の保険等加入を義務づけている。事務局は、知

事通知の担当課にこの件の考え方を確認すること。

(委員)

県の公益通報の実績はどれくらいあるのか。

(事務局)

県ホームページにおける公開情報によれば、年に数件の通報があり、是正措置が講

じられた実績もあるようだ。

(委員)

次回委員会で、他のハラスメント相談の件数も含め報告してほしい。

閉 会